



2025年5月14日

株式会社商船三井さんふらわあ

寄港地自治体との連携協定を締結

～地域の魅力をつなぎ、地域の活性化と観光促進への新たな一歩～

株式会社商船三井さんふらわあ(社長:牛奥 博俊、本社:東京都千代田区、以下「商船三井さんふらわあ」)は、大阪での発着港の所在する大阪市住之江区と共に、運航先の別府市(大分県)と志布志市(鹿児島県)との間でそれぞれ、地域の魅力づくりと観光プロモーションに関する連携協定を締結しました。

当社が運航するフェリー「さんふらわあ」が結ぶ地域を中心に、それぞれの地域資源を活かした取り組みを進め、各地域の認知度向上と観光交流の促進を図ってまいります。

■ 大阪市住之江区 × 別府市 × 商船三井さんふらわあ (締結日:2025年4月5日)



写真左より住之江区長 藤井英明様、別府市長 長野恭紘様、当社社長 牛奥

主な取り組み:

- ・大阪/別府航路を通じた地域の魅力づくり
- ・地域の情報発信力及び認知度の向上
- ・国内外における観光プロモーション

大阪の海の玄関・住之江区と、日本屈指の温泉地・別府市が連携し、旅行者をはじめとする交流人口の拡大を推進、地域の成長・発展を図ることを目的とします。

## ■ 大阪市住之江区 × 志布志市 × 商船三井さんふらわあ(締結日:2025年4月29日)



写真左より住之江区長 藤井英明様、当社社長 牛奥、志布志市長 下平晴行様

### 主な取り組み:

- ・大阪/志布志航路を通じた地域の魅力づくり
- ・両地域相互の観光および産業の振興
- ・教育、文化及びスポーツ等を通じた交流

住之江区と志布志市は、フェリー航路という海の道で結ばれており、地域の魅力を高め合いながら新たな観光交流、認知度向上そして産業の振興を目指す持続可能な連携モデルを築いてまいります。

### ■ 今後の展望

株式会社商船三井さんふらわあは、フェリーという「海の道」を活かして地域間をつなぎ、今後も地域と連携したプロジェクトを積極的に推進、人々や地域とのつながりを大切に、持続可能な豊かな未来を共創します。

商船三井グループでは、グループビジョンの実現を通じて社会と共に持続的な発展を目指すための重要課題として「サステナビリティ課題（マテリアリティ）」を特定しています。本件は、5つのサステナビリティ課題の中でも特に「Human & Community -人の活躍と地域社会の発展-」にあたる取り組みです。

